

第181回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ
『眼をひらく』
こころ
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

期 日 2019年7月20日（土）午後6時半～8時半

講 師 池田 勇諦（いけだ ゆうたい）氏（同朋大学名誉教授）

講 題 「私」を賜って「関係」を生きる

講師紹介 1934年三重県桑名市に生まれる。
同朋大学名誉教授
真宗大谷派「講師」
三重教区桑名組西恩寺前住職

著 書 『真宗仏教と現代社会』（福村出版）、『親鸞聖人の手紙から』、『仏さまの願い—四十八のメッセージ』（東本願寺）、『社会に関わる仏教—この現実のただ中で—』（樹心社）など多数

先生からのメッセージ

あるお家で拝見した二枚の色紙が忘れられません。
一枚は「逃げてはならぬ」、もう一枚は「逃げることばかり」。
この一対の色紙がわたしたちに語りかけている問題に耳を傾けたい。

MEMO

次回 第182回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2019年8月20日（火）午後6時半～8時半

講 師 上野千鶴子（うえの ちずこ）氏 （社会学者）

講師紹介 富山県生まれ。社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。1994年『近代家族の成立と終焉』（岩波書店）でサントリー学芸賞受賞。2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」著書に、『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』（法研）等多数。最新刊に『女ざらい ニッポンのミソジニー』（朝日新聞出版・文庫）がある。